

## 第 3 期「京都市民長寿すこやかプラン」中間報告に係る市民説明会 及びパブリックコメントの実施結果について

### 1 市民説明会

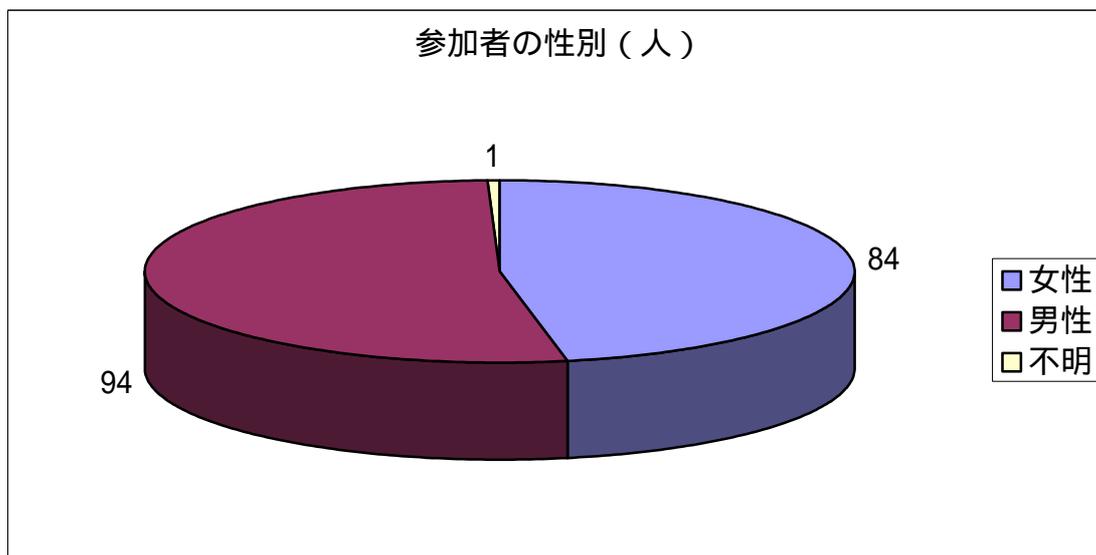
次の日程で、市民説明会（市内 6 会場）を開催し、延べ 4 9 5 人の参加があった。

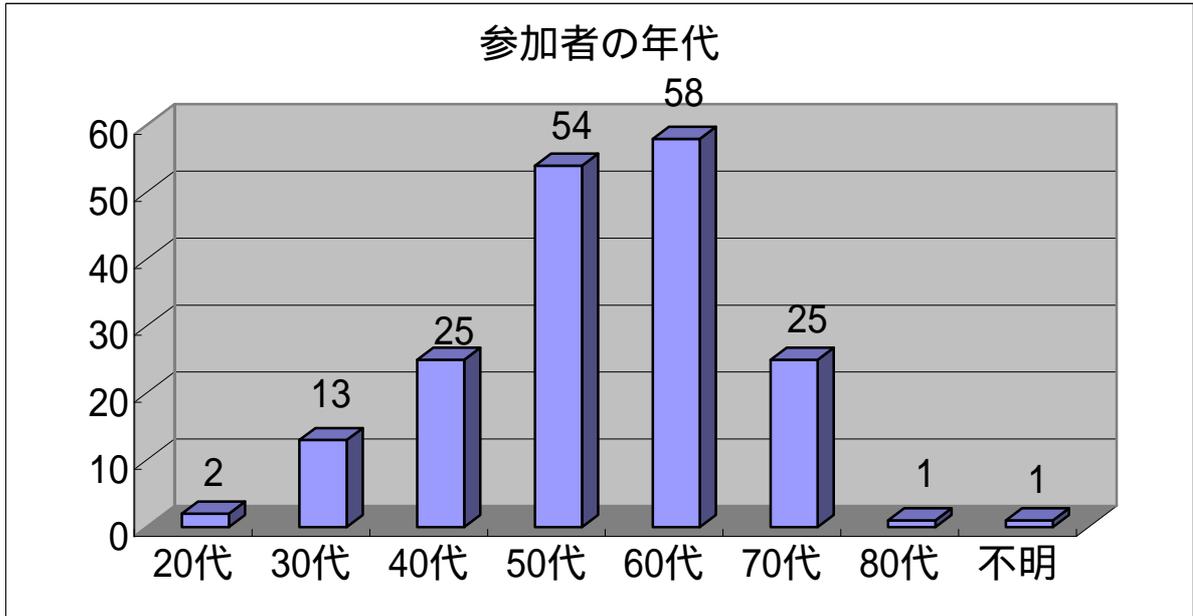
会場

日 時	会 場
1 0 月 3 1 日（月）	ひと・まち交流館 京都
1 1 月 2 日（水）	京都市呉竹文化センター
4 日（金）	京都市右京ふれあい文化会館
7 日（月）	京都市北文化会館
9 日（水）	京都市東部文化会館
1 0 日（木）	京都市西文化会館ウエスティ

アンケート提出者

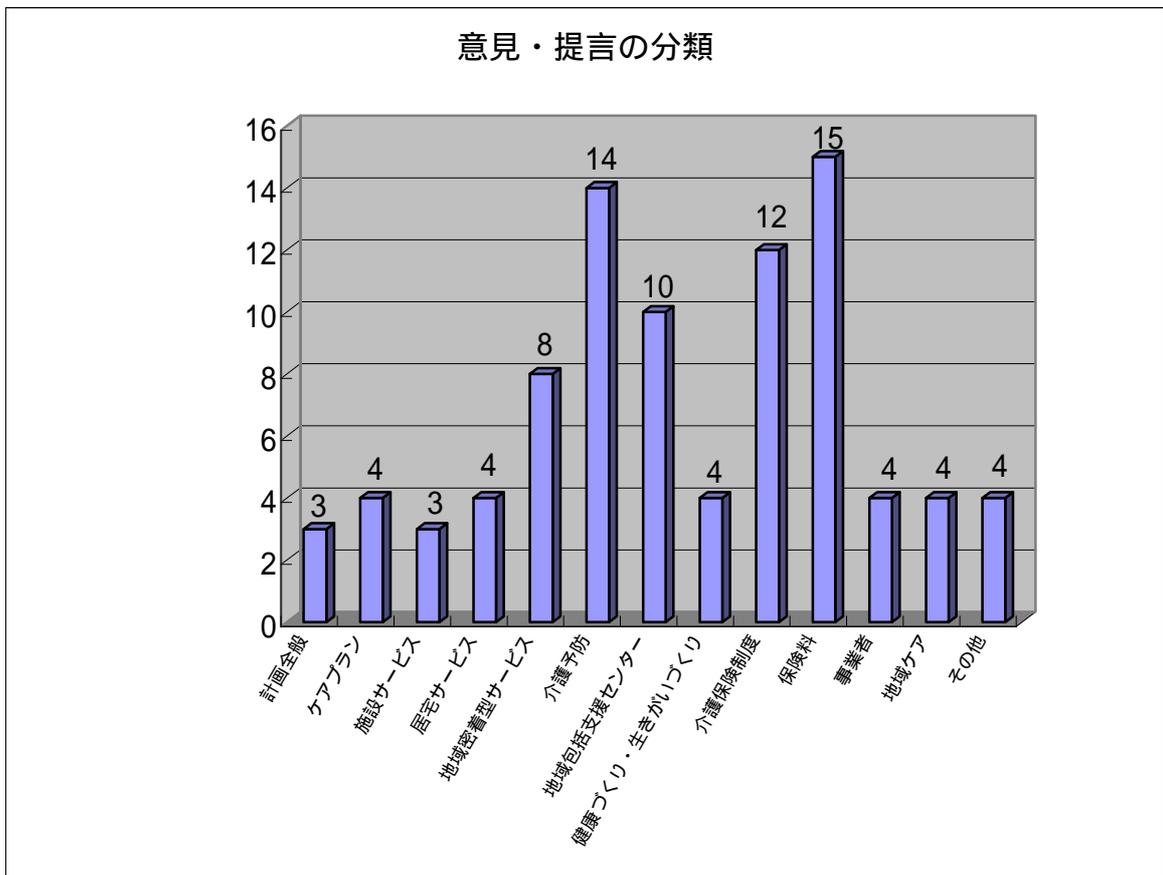
参加者のうち、性別、年代等を尋ねたアンケートの提出があったのは、1 7 9 人であった。





#### 意見・提言

参加者のうち、63人から89の意見・提言（質問を含む）があった。  
意見・提言の内容を13に分類した結果は次のとおりである。



個々の内容について、文意を損ねないように次頁以降にとりまとめた。

市民説明会で寄せられた意見・提言

	性別	年齢	意見分類	意見内容
1	男性	50代	計画全般	最終プランはいつ出るのか。
2	男性	70代	計画全般	今後の10年が超高齢化の時代なら、長期プランに沿って考えれば、今は無理な問題かも知れないが、学区単位で計画を立てるべきではないか。民間企業も入れて、特養ホーム等の経営を地域で行う、旧市内などでは廃校の跡地の利用なども考えられないか。すばらしいプランを期待している。
3	男性	70代	計画全般	今後、経済状況の変動、その他本案に対して甚大なる影響を及ぼすと考えられるものについての考え方(2-3件にしばって)及び早期の周知徹底について検討することが必要。
4	男性	60代	ケアプラン	マイケアプラン(セルフプラン)は、現在利用票・提供票を提出することによって成り立っているが、それは今後も変わらないか。
5	女性	50代	ケアプラン	介護保険料を軽減させるため、認定調査のみを受ける人については是非「マイケアプラン」を考えて欲しいと思う。自身のことをよく見極める、尊厳も保てると思う。ケアマネージャーがその様な支援を今までできなかった事もあり、世間一般に周知されていないように思う。広報も一程度の記載しかないのもとても残念。元気で生活してもらうためにも、このことはとても重要なので是非お願いする。
6	女性	60代	ケアプラン	サービス利用時のケアプランについて、自己作成はどう位置づけられるのか、新予防給付においてはどうなるのか。 市発行のパンフレットに自己作成の説明が見直し後にも記載されるのか。
7	女性	50代	ケアプラン	ケアプラン自己作成の流れについて、説明して欲しい。
8	女性	40代	施設サービス	現在の施設待ちの状況で、どのくらい不足と考えられるのか。
9	男性	60代	施設サービス	妻が特養ホームに入所したが、当初入所希望者(申請者)は多数いると施設の方から説明を受けた。現在、施設入所定員は満杯になっていないようであるが、施設運営上はどのようになっているのか。
10	女性	60代	施設サービス	家庭で介護できなくなった時に、施設にスムーズに入れるようにしてほしい。
11	女性	30代	居宅サービス	従来のすこやか事業、ヘルパー、デイサービス、日常生活用具などはどうなるのか。
12	女性	50代	居宅サービス	入所者の負担が重くなると、これからはやむなくできるだけ長く、在宅を選択する人が増えると思う。ヘルパー養成の現状から、実際にニーズに合った技能(量と質)を持ったヘルパーについて、どういう見直しの計画を持たれているのか。
13	女性	40代	居宅サービス	在宅サービスの脆弱性を充実させることが第一。重度、認知症、独居の人をどう支えていくかも大切。
14	女性	50代	居宅サービス	ショートのリハビリについての説明と、利用料が上がることによる在宅介護の負担増についての説明をして欲しい。
15	男性	60代	地域密着型サービス	今後、在宅介護者に対する支援の重要性(質的にも量的にも)が増加すると考えられる。特に夜間対応(地域密着型サービス、夜間対応、小規模多機能etc)を初め、家族介護者が不在時に果たして利用者への支援が十分に行えるか。その様な体制が地域の中で構築出来るのか。実体をよく把握した血の通ったきめ細かい施策展開を要望したい。
16	女性	50代	地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護拠点への支援や10人前後の小さいグループでの自立的な運営での介護をされているところにも何らかの支援を希望する。
17	男性	30代	地域密着型サービス	地域密着型サービスで、特に、小規模多機能型居宅介護拠点については、来年春からスタートするのか。
18	男性	50代	地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護拠点の整備計画について、18、19年度の整備計画や開設法人の選定基準はどういうものか。
19	女性	50代	地域密着型サービス	地域密着型と言われる言葉がよく出て来るが、地域住民にサービス又はボランティアとしての負担はかかって来るのか、行政サイドでの事なのか。民生委員としての関わりについてはどういったものになって行くのか。
20	女性	50代	地域密着型サービス	地域密着型サービスのマンパワーの確保とその人件費について教えて欲しい。
21	女性	70代	地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護拠点が自分の地域に出来たらと思う。
22	女性	60代	地域密着型サービス	地域密着型は介護保険制度の基本だと思う。地域でのボランティアも今までは積極的に募っておられない様に思う。具体的な内容もわかればボランティアに参加しやすいのではないか。
23	男性	60代	介護予防	新予防給付によって給付額を少し抑え、保険料も抑えられるとされていることはよいが、新予防給付は「予防」についての給付をすることで、軽度であっても介護を要する方の生活を困難にしないのか。予防をどのように考えているのか。
24	男性	30代	介護予防	要支援2の認定基準はどういうものか。
25	男性	40代	介護予防	予防給付に移行すると従来の居宅介護支援事業所との関係がどうなるのかと利用者から心配の声が出ている。具体的な移行についての説明はいつ頃、どのようにされるのか。

市民説明会で寄せられた意見・提言

	性別	年齢	意見分類	意見内容
26	女性	40代	介護予防	現在の要支援、要介護1の方々の中に、認知症の方も多く、本当に在宅での生活を支援していくためには、この人たちこそサービスを必要としているのではないかと思います。目標に達することで一旦サービス打ち切りとしていくことは決してできないことだと考える。新予防給付の対象と認定された人が、どれだけ利用されるか疑問である。全体の支出減の策として、予防にはもっと人もお金もかけなければ、手遅れとなり莫大な費用となるだろう。
27	女性	40代	介護予防	予防給付の大切さはわかったが、介護給付を受けている人（現在も利用中の方々）が切捨てにならないか心配。リハビリの効果も現状維持がやっとという高齢者の方もあると思う。現状の維持については評価されないのか。
28	女性	50代	介護予防	新予防給付の対象者（介護予防の）の把握はどのようにするのか。新予防給付のプランのメニューは楽しいものか、継続性のあるものか。また、在宅で行う場合の管理はどのようにするのか、効果のアセスメント方法は。
29	女性	40代	介護予防	地域支援事業の対象者は、高齢者人口の5%の20%、つまり高齢者の1%と思うが、地域支援事業の量の見込みで示された人数はそれより多いように思う。
30	男性	40代	介護予防	介護予防事業の効果が発揮されて、高齢者ひとりだけの負担が少しでも抑えられるように期待している。
31	男性	50代	介護予防	特定高齢者を5%とする根拠はなにか。
32	男性	60代	介護予防	市職員からの説明にもあったように介護予防に取り組むことは必要だと思う。最近、筋力トレーニングで足腰を鍛えると介護予防に効果があるとよく聞かすが、誰でも簡単にできるのか。
33	女性	40代	介護予防	予防の政策は重要だと思うが、その受け皿や継続性について未定なところは不安に思う。
34	男性	70代	介護予防	今後予防を重視するというのはどのような理由からか。
35	男性	60代	介護予防	「介護予防の充実」で具体的には個々の地域でどのような施設を予定されているか。
36	男性	50代	介護予防	介護予防措置としての補助等も考えておられるようだが、グループ、団体に所属しない個人にも還元していただけるような措置をお願いしたい。
37	男性	50代	地域包括支援センター	地域包括支援センターの設置予定やそれに伴う居宅介護支援事業所の今後の取り組み方、運営基準等の見直しの状況を18年4月までのタイムスケジュールに沿って分りやすく示してほしい。
38	女性	60代	地域包括支援センター	地域包括支援センターは大変良い案である。隣の学区までも足を運べない。2～3町内に1箇所ぐらいのサロンがほしい。人手は大変だろう。地域で40～50歳までの人達の福祉に対する関心があまりにもない。家庭でお子達（息子さん、娘さん）に福祉のお話し合いをしてほしい。
39	女性	50代	地域包括支援センター	在宅介護支援センター、80箇所以上あったのが地域包括支援センターに変わる事で相当数減り、50箇所程度との事、本当にこれで市内全域責任が持てるのか。中学校区に1つであれば相当広範囲になるのではないかと。
40	女性	50代	地域包括支援センター	地域包括支援センターを担う人材が揃うのか、それだけの力量があるのか不安である。地域包括支援センターが確立しない限り、地域密着型、小規模多機能型の円滑で適切なサービスが提供できるのかが心配である。自立した生活が果たして実行できるのかが問題と思う。介護予防についての個別性について、もう少し検討した方がよいのではないかと。
41	女性	40代	地域包括支援センター	地域包括支援センターや小規模多機能型居宅介護拠点も現実的なものになりうるのか、現状の中で介護保険に関わるケアマネとしては不安が否めない。
42	男性	50代	地域包括支援センター	地域包括支援センターについて、パネルディスカッションの中で、高齢者福祉に対して精通した社会福祉士はどれだけのいるのかという話があったが、総合的に社会福祉全般の知識、技術を確保しているものであって、専門分野はあって然るべきだが、既存の在宅介護支援センターをベースにしているのが前提であるので、社会福祉士や保健師など自治体レベルで応募するなど考えられるのではないかと。
43	男性	30代	地域包括支援センター	在宅介護支援センターから、地域包括支援センターに移行することだが、センターの中立性はどのように保たれるか
44	男性	70代	地域包括支援センター	現在の地域型在宅介護支援センターの受託法人への委託数はどのくらいか。
45	女性	60代	地域包括支援センター	地域包括支援センターは全くの新設か、何か既存の事業所の移行なのか。また、そこに働くケアマネジメント従事者はどんな要件の人が行うのか。
46	女性	40代	地域包括支援センター	地域包括支援センターの財政的な見通しや誰が担うのかなど具体的に教えて欲しい。
47	男性	60代	健康づくり・生きがいづくり	要介護者にならない様に、健康事業の取組に公的支援を充実すべきである。
48	男性	70代	健康づくり・生きがいづくり	地域の資源を活用した多様な活動の場づくりの地域の資源は何か。
49	男性	60代	健康づくり・生きがいづくり	京都市社会福祉協議会と京都市老人クラブ連合会での取組事業の整理統合、一本化して健康事業等に取り組みめないか。行政施策としても無駄や重複があると思う。
50	女性	40代	健康づくり・生きがいづくり	人間の老化について、自然の衰えをどう捉えているのか。能力の維持をしていくことの評価が全くされていないように思う。
51	男性	50代	介護保険制度	社会参加などは進めるべきものだが、今それができない社会を構築してきた中で、それを給付減の為に手段的に考えるのかどうか。予防まで保険給付にするより公費で行う上で、現在のマネジメントシステムも見直すべきではないか。地域の実態にフィットする気がしない。安定化基金への返還を保険料に上乗せするのはどうも納得できない。行政内で解決して欲しい。

市民説明会で寄せられた意見・提言

	性別	年齢	意見分類	意見内容
52	男性	60代	介護保険制度	介護保険料と健康保険料を結合させて一本化することが望ましい。介護保険料は高い、年金生活者には負担が厳しい。
53	女性	40代	介護保険制度	要介護認定者数のうち、17%程度がサービス未利用者となっている。認定を受ける方の中には、「いざという時のために認定を受けたい」とか「保険料を払っているから認定を受けたい」という方もおられる。介護保険制度の趣旨を説明しても、上記のような考えで申請希望される方は少なからず後を絶えない。このような状況について、市側の考えをお聞きしたい。
54	男性	50代	介護保険制度	「再編」とか「見直し」という言葉を聞く度に、私達市民の負担が増えるような気がする。老人保健事業、介護予防・地域支え合い事業、在宅介護支援センター運営事業を地域支援事業に再編するとあるが、これまで税金で行っていた事業に加えて介護保険で介護予防に取り組むということなのか。
55	女性	60代	介護保険制度	介護保険認定者のうち、サービス未利用者はどのくらいの数値なのか。また、未利用の理由は何なのか。
56	女性	60代	介護保険制度	要介護認定に伴う費用が介護保険料の中から支払われている事をもっと一般に知らせて欲しい。無駄をなくす為にも、必要な時にすぐに利用出来るのだから必要な時に手続きをするようにと周知して欲しい。
57	男性	50代	介護保険制度	財政安定化基金への返金額総額（第1号被保険者分）はいくらか（見込額）。財政安定化基金以外からの貸付は有るのか。
58	女性	70代	介護保険制度	支援を求める人には、要介護認定を受けてから介護を受けられるまで時間がかかるために要介護認定を勧めていたが、今日の説明会で、サービスが必要となったその日からサービスが受けられて要介護認定は後日でも良いと聞き、非常に驚きうれしく思う。
59	女性	60代	介護保険制度	留守番もできるような人が安易に施設に入所させられている。最初の趣旨である在宅介護が忘れられている。
60	不明	不明	介護保険制度	医療保険や介護保険等は、決算で赤字がゼロになるように考える必要がある。市は財源の確保を考える必要がある。
61	男性	60代	介護保険制度	約1ヶ月前にケアマネジャーに相談し、現在介護認定を申請中だが、まだ認定が下りない。病院から施設への転院を勧められているので早く出来ないかと思う。
62	女性	60代	介護保険制度	要支援、要介護と認定されることは、介護支援専門員（ケアマネジャー）等による調査で決まるのがよくわかった。
63	女性	50代	保険料	保険料を上げないでほしい。
64	女性	40代	保険料	17年度税制改正に伴う激変緩和措置の内容についてもう少し詳しい説明をお願いする。なお、新第2段階の設定により、現在の減額対象者が対象から外れることになるのではないのか。
65	女性	50代	保険料	保険料値上げにより、年金暮らしのお年寄りにとっては限られた収入の中での生活、今のサービス量が減るのではと心配している。
66	女性	40代	保険料	現在の保険料の支払いも大変な現状の方が多く中で、保険料の引き上げは老人の生活を益々困難なものにするだろう。根本の財源の使い方を変え、福祉や医療への補助を増やしてもらえないものかと思う。
67	男性	30代	保険料	ディスカッションの中の発言にもあったが、保険料、利用料負担の増大で必要なサービスを受けられない方が出てこないようにしていただきたいと思う。
68	男性	70代	保険料	介護保険料について、最高額の保険料が課されている。利用しない者にとっては、保険料は掛け捨てとなることから、この制度のあり方を考えて欲しい。
69	男性	50代	保険料	第1号被保険者の保険料が平成18年度に18%から19%になる場合、逆にどこの負担率が減るのか。
70	男性	60代	保険料	収入が変わったことで、介護保険料段階区分が下がって還付の通知が来たが、少額の還付であり、そのための経費（特に人件費）が無駄に思う。このような無駄を省く努力をして欲しい。
71	男性	70代	保険料	保険料算定について、住民税の課税状況や所得額によって区分されるが、住民税が0円でも課税として取扱うことがあるなど制度が理解しにくい。
72	男性	60代	保険料	2月に65歳を迎える場合の保険料支払について、介護保険制度では、2、3月分を一括払いするよう決められているようだが、国民健康保険ではそのようなことはないため、介護保険料は2月と3月に1ヶ月分ずつ請求するようにすべきである。
73	男性	70代	保険料	他に先がけて介護保険料改定案を示すメリットは何か。介護保険の歳出の支給として業者の的確性に疑問がある。従来のような保険料の不足分を貸付で対応する手段では将来に不安が残る。保険料の上昇には激変緩和措置をとってほしい。
74	女性	70代	保険料	見直し後の保険料（案）では、前年の合計所得の上限が700万円以上となっているが、高額所得者には更に1000万で分けて欲しい。
75	男性	60代	保険料	年金は下がり、保険料が上がることも必要であるが、税金等は有効に活用して欲しい。
76	男性	60代	保険料	介護保険で保険料滞納している方がいるが、その徴収はどのようにしているか。
77	女性	60代	保険料	支出を厳しくチェックしないと、保険料の負担増は際限が無い。

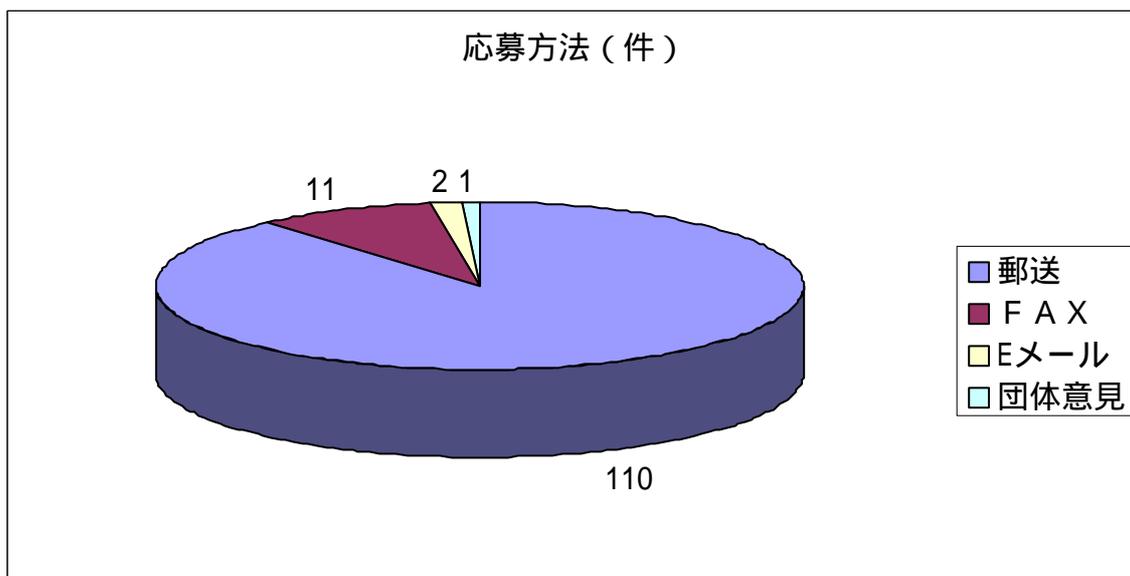
市民説明会で寄せられた意見・提言

	性別	年齢	意見分類	意見内容
78	女性	50代	事業者	民間事業者との連携もしくは提携について、どのように考えているか。
79	男性	70代	事業者	パネリストの方の話はもっともだと私は感じた。もっとケアマネが正直な見方をして本人の介護につとめてほしい。自分のお金ではないので、その本人に気に入られるための介護をケアマネがするようではだめだと思う。本人も自分に都合のいい介護内容を示すケアマネに乗り換えるような事では困ると思う。
80	女性	50代	事業者	行政が求めているサービスの質について具体的に明記してもらえたらと思う。18年度改正に関係する居宅介護支援事業所への通知はいつごろになるのか。
81	女性	70代	事業者	介護保険事業者の不正受給の調査をお願いしたい。
82	男性	50代	地域ケア	日常生活圏域は広すぎてパネリストの言うイメージより違ったものである。
83	女性	50代	地域ケア	独居や老夫婦世帯は将来には追々介護に移行する可能性がある。そのような状況の中で新しい家族の形を考え、実行する必要があるのではないか。
84	女性	60代	地域ケア	現在、地域でふれあい喫茶をしてボランティアが支えている。10時開店で3時まで90名位の高齢者が来る。週1度3年続けており、地域の高齢者の憩いの場となっている。行政の支援は受けられないか。
85	女性	70代	地域ケア	地域での取組計画をもっと強化したいと思う。
86	女性	30代	その他	市民説明会としては、内容、言葉、話しのテンポが理解しづらかったように思う。広報に力を入れて、多くの市民に参加してもらいたいと感じた。
87	男性	50代	その他	説明会の内容について、地域での集会（町内会etc）で使えるビデオを作成して貸し出ししたらどうか。
88	女性	60代	その他	説明がサラサラと流れ、内容が理解できなかった。対象が市民であることにもっと留意して説明に工夫を加えてほしい。
89	女性	60代	その他	説明会はもう少し時間を取ってゆっくり分かりやすく説明いただきたい。

## 2 パブリックコメント

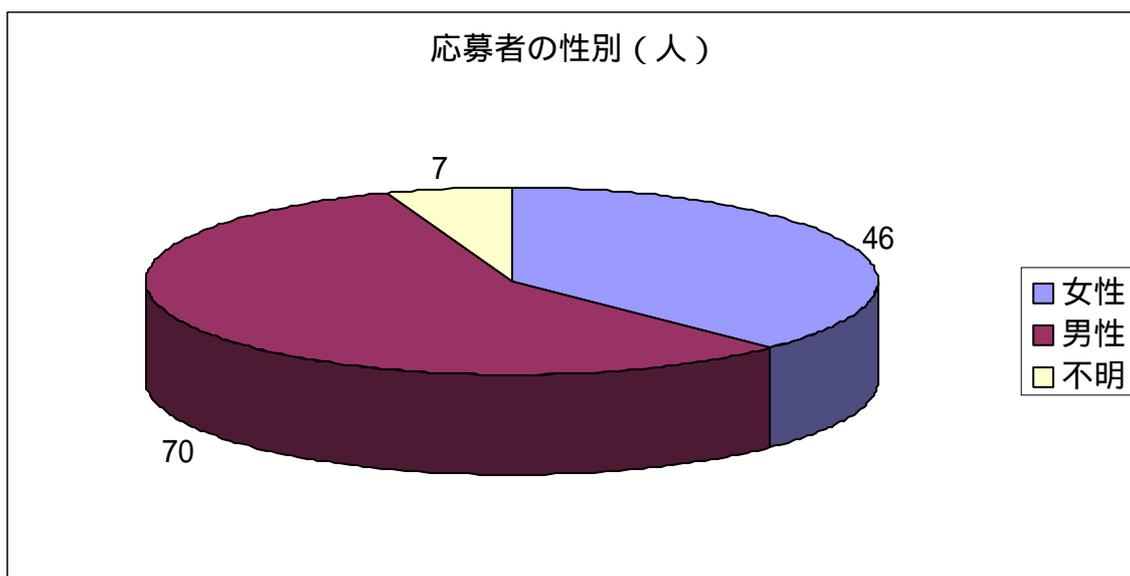
10月31日から11月30日の間にパブリックコメントを実施し、個人123人、1団体の応募があった。

### 応募方法

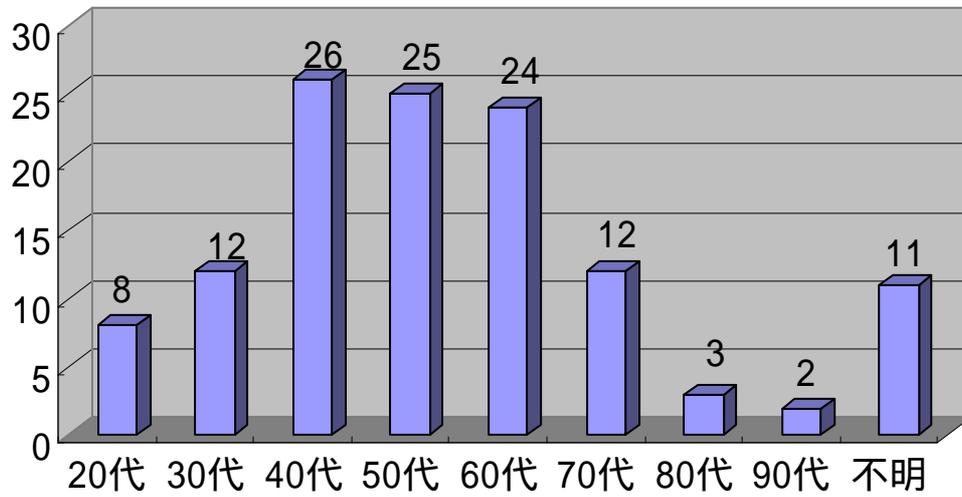


### 応募者

個人123人の性別、年代は次のとおり。



応募者の年代

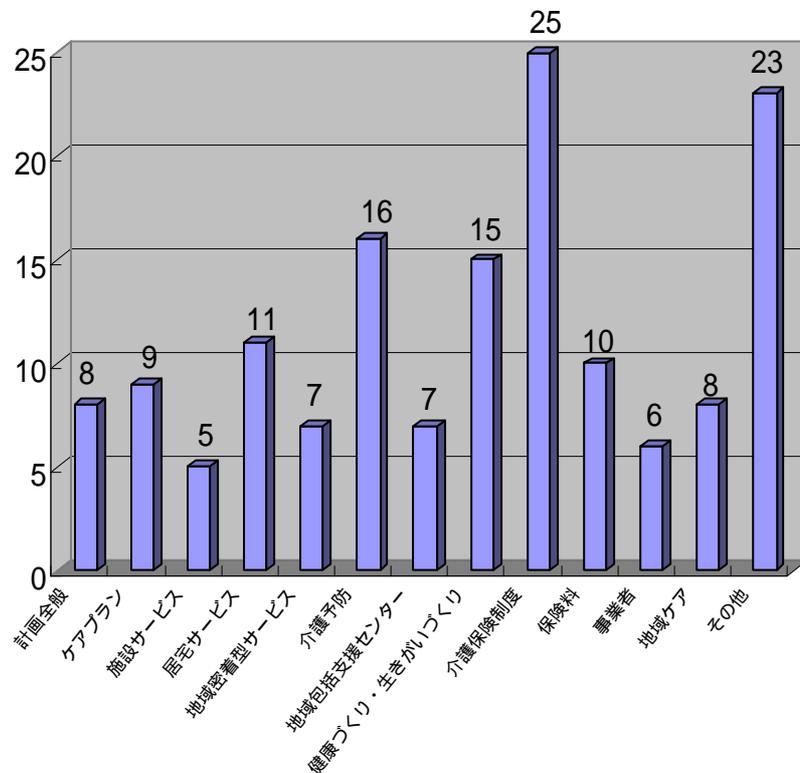


意見・提言

個人123人，1団体から，150の意見・提言があった。

意見・提言の内容を13に分類した結果は次のとおりである。

意見・提言の分類



個々の内容について，文意を損ねないよう次頁以降にとりまとめた。

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
1	郵送	女性	40代	計画全般	国からの情報が少なくはつきりしない内容の中、よくまとまった計画で分かりやすいと思ったが、まとも過ぎていて、一体何をしてくれるのか逆に分かりにくい感じがする。これから事業も書いていかれるのだろうが、具体性、実効性のあるものを記していただくようお願いする。	
2	郵送	男性	80代	計画全般	重点課題ごとの取り組み状況については、介護区分別に対応させた重点課題を示し、それに対する施策案を示したほうが分かりやすく、今後の取り組みについても理解しやすいのではないかと。	
3	郵送	女性	50代	計画全般	京都市は高齢者福祉に力を入れていると思う。それをもっとアピールしてもよいのではないかと。このような計画を広く市民にも知ってもらうべきである。出前トークももっと利用してもらうべきである。	
4	郵送	男性	50代	計画全般	戦後の貧しい時代に育ち、我が国の再生に寝食を忘れて尽くしてきた。少年のような国思いの世代の者にとって優しい余年が過ごせる社会をつくってほしい。2015年を見据えるのではなくこれから高齢者になる者の特徴をもっとおさえて施策を立案していく必要があるだろう。	
5	F A X	男性	70代	計画全般	第3期計画策定に当たっては、要介護4、5を重点に方向を示し、概要は図で示してほしい。	
6	F A X	男性	50代	計画全般	11/4の「精神保健福祉ボランティア・全国をつどい」に参加するため京都に来て、たまたまこの報告書を手にした。私は多摩市の介保運営協議会の市民委員になっており、この報告書を見てすごく素晴らしいと思った。生活圏の項目も参考になったし、こうして市民から意見を吸いあげることは有意義なことだ、かつ必要なことだと思う。私は京都市民ではありませんが、是非計画冊子を送っていただきたい。	
7	郵送			計画全般	数十年先には3人に1人は高齢者になるそうで、この頃には何でもわかりやすく使いやすい環境にある社会になってほしいと思う。これまで新しいものをどんどん取り入れてきた京都のまちから取り組んでいただけたらと思う。	
8	郵送	男性	50代	計画全般	高齢者に敬意を表す社会にしてほしい。戦争を知る後期高齢者には、戦争の生き証人として長く生き続けてほしい。	
9	F A X	女性	90代	ケアプラン	地域包括支援センターの創設により、要支援以前の予防も大切であるが、支援に対して、マイケアプランの自己作成も自立、自律、尊厳も取り入れてほしい。	
10	Eメール	女性	50代	ケアプラン	ケアプラン自己作成が出来ることを再確認してほしい。	
11	Eメール	女性	50代	ケアプラン	ケアプランの自己作成について、保険者として支援することを、広報紙やパンフレットに明確に記載してほしい。	
12	Eメール	女性	50代	ケアプラン	介護予防プランについても、地域包括支援センターはマイ予防プラン実践者を支援するようにしてほしい。	
13	Eメール	女性		ケアプラン	自己決定ということは基本的人権のひとつでもある。個人の尊厳を守ることに於いて、その人らしい生活、その人が望む暮らしというものは強制的に理論に結び付けてこうしなさいというものでない。その人が適切に選べる環境作りを行政がいかに支援できるか、そのなかでその方に応じた生活を見つけること、これこそマイケアプランの実践ではないかと。	
14	Eメール			ケアプラン	各行政区の福祉介護課や地域包括支援センターは、マイケアプラン実践者を積極的に支援するようにしてほしい。	団体
15	Eメール			ケアプラン	介護予防プランについても地域包括支援センターは、マイ予防プラン実践者を支援するようにしてほしい。	団体
16	Eメール			ケアプラン	介護予防プランは日常生活動作(ADL)より、生活の質(QOL)の向上に重点を置いてほしい。	団体
17	Eメール			ケアプラン	マイケアプランの実践は自己決定権の行使であり、尊厳意識や自尊心を高め、高齢者の生き方を「自立」重視から「自律」重視へと進め、介護保険法の精神を具現する考え方であるから、市民に具体的に説明し、保険者として支援することを広報紙やパンフレットに明確に記載してほしい。	団体
18	郵送	男性	60代	施設サービス	私の家内は今年ユニット型個室のある特養ホームに入所したが、同じ棟に運動能力のある認知症の方がおられる。この人は他人の部屋に入って勝手に使ったりヘルパーが洗って整理した食器を取出して机などふいたふきんで食器を洗い直すなどして目が放せない。ヘルパーの仕事が二度手間になっている。現在の状況では同じユニットになるのは仕方ないが、将来的には認知症が1.5倍になることから認知症専用の特養ホームの建設も必要ではないかと。また、認知症に対する予防策の周知徹底、健康管理の啓蒙などを推進してほしい。	
19	郵送	女性	60代	施設サービス	施設等への入所に当たっては、身近な地域の医療、福祉施設に入院、入所すべきだと思う。	
20	郵送	女性	90代	施設サービス	テレビで遠い国の地震の状況を見て心が痛む。現在、老人保健施設に入所しているが、そんな状況時の指導が何もない。たまには避難訓練などがあってもいいかと思う。	
21	F A X	男性	70代	施設サービス	施設サービスの量及び介護専用型居住系サービス量の見込みにおいて、後者は17年度0人、20年度154人となっているが、施設入所希望の待機者は多数であり、少しでもその解消に役立つと思うので、今後、整備の希望がある場合は制限しないでほしい。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
22	F A X	男性	70代	施設サービス	施設の質の問題について、老人の人権を無視した施設が多いのには怒りを覚える。本当に老人を大切する施設をもっと増やしてほしい。そのための教育、育成も大切な施策として取り組んでほしい。	
23	郵送		40代	居宅サービス	情報が行き渡らない外国人や障害者へのサポートが必要と思われる。それを計画に記載するべきである。	
24	郵送	女性	50代	居宅サービス	オムツのゴミを捨てるため、ゴミの量が多いが、ゴミ袋が有料になると聞いた。オムツ利用者の要介護者には、ゴミ袋の支給をしていただきたい。	
25	郵送	男性	50代	居宅サービス	介護で苦勞する家族に対してどういう支援をしていくか具体的に示すべきだ。家族は少しでも介護から解放されることを望んでいるから、デイサービスやショートステイを利用しやすくしてほしい。多少の保険料が上がっても我慢する。	
26	郵送	女性	70代	居宅サービス	夫の介護でヘルパーにお世話になっている。今のヘルパーは大変親切だが、以前に来ていた人は言葉づかいも悪く、仕事も雑だった。同じところから来てもらっているのにどうしてこうも違うのか。職員の研修の問題では説明がつかないと思えるほどである。	
27	郵送	男性	70代	居宅サービス	自営で織物の仕事をしているが、最近ひざが少し不自由になってきたこともあり、ヘルパーに来てもらっている。できるだけ家で仕事を続けていきたい。	
28	郵送	男性	40代	居宅サービス	介護保険の訪問介護で、散歩等の外出介助が認められないのはおかしい。要介護状態になっても近所を散歩することは、地域社会で生きる上で当然の権利として保障されるべきではないか。引きこもり防止や重度化防止のためにも必要なことである。	
29	郵送	男性	40代	居宅サービス	通院介助で病院内の介助が制限されていることはおかしい。本来、病院がやるべきこととされているが、あるべき論ではなく、現実を見る必要がある。	
30	郵送	男性	60代	居宅サービス	ひとり暮らしで、食事はスーパーやコンビニでお弁当などを買って食べており、今は元気だが、食生活に栄養面で少し心配している。配食サービスというのがあるようだが、私は普段の食事をバランスよく摂りたいだけなので、NPOとか民間で、栄養士さんの考えた献立のようなバランスの良い食事が、手軽で安価で毎食続けて摂れるようなものはないか。	
31	Eメール	女性	50代	居宅サービス	短期入所サービスのホテルコストは、利用料の減免により在宅介護者の負担を抑制して欲しい。	
32	F A X	男性	30代	居宅サービス	認知症にやさしい社会づくりのための啓発が大切。そうしないとこれだけ認知症が増えていると人権がないがしるになってしまう。保健所でセミナーを開催してはどうか。	
33	郵送	女性	50代	居宅サービス	介護で苦勞している女性達に対して少しの時間でも気が休める場を増やしていただきたいと思う。市の主催するコンサートや美術展にご招待いただくようなことはできないのか。	
34	郵送	女性	50代	地域密着型サービス	日常生活圏域ごとに小規模多機能型居宅介護拠点を整備することはすばらしい考えである。できるだけ早期にすべての圏域に設置することを望む。	
35	郵送	男性	60代	地域密着型サービス	一口に高齢者と言ってもさまざまだが、やはり介護が必要な高齢者へのサービスを充実するのが先決だろう。地域密着型サービスに期待している。	
36	郵送	女性	40代	地域密着型サービス	小規模特別養護老人ホームというのは、定員何人くらいのところなのか。近所に出来たらその地域の人は優先して入れるのか。	
37	郵送	女性	40代	地域密着型サービス	京都市が地域密着型サービスの事業者指定を行うと聞いたが、いったん出来てしまうと質の悪いところと地域住民は付き合わなくてはならないので、しっかりとした法人を見極めるようお願いしたい。	
38	郵送	男性	40代	地域密着型サービス	早く小規模多機能施設を全ての日常生活圏域で作って欲しい。	
39	郵送	男性	60代	地域密着型サービス	地域密着型サービスの基盤整備のイメージで、モデルとしての説明はわかったが、私の住む地域はいつ頃、どのようになるのか知りたい。	
40	Eメール	女性	50代	地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護事業所は、該当地域の住民参加により創意工夫され地域に密着したものであり、医療・保健・福祉の連携の下で常に質の向上を目指して実施して欲しい。	
41	F A X	女性	40代	介護予防	先日読んだ本の中に、“寝たきり”は“寝かせきり”からという言葉があった。年を経ると、誰も身体的に衰えてくる。また、何かしらの慢性的な疾患もあるだろう。それが引き金になり、介護という問題に突き当たると思う。医療分野と介護分野が濃密に連携する事は大切だが、勿論私達1人1人が、甘えないで自己管理をする事は言うまでもない事である。今回の“予防重視”という理念は至極当然と思う。しかし、本当に困って救いを求める人達への支援は、削らないように願います。	
42	郵送	女性	30代	介護予防	ヘルパーをしている。介護予防の制度がはじまると、高齢者の人と一緒に食事をつくることがあると聞いた。食事はヘルパーひとりでつくった方が早いですが、介護予防のことを考えれば必要なことだと思う。ただ、もう少しヘルパー活動にゆとりがあればと思う。	
43	F A X	男性	50代	介護予防	要介護認定非該当（自立）者を対象とする「地域支援事業」の内容がみえない。新メニューと現行訪問介護・デイの予防型メニューなどの策定に市民参加型の検討が望まれる。これに市としての独自性を出したい。	
44	郵送	女性	40代	介護予防	介護予防のため健康すこやか学級でレクリエーションをすることは、新しい仲間づくりにもなるのでよいことである。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
45	郵送			介護予防	まだ中間報告のせいもあるのだろうが具体的にどのような介護予防に取り組むのか。幾ら立派な施設を作ってもお年寄りの介護予防に取り組む意識が変わらなければ利用者は増えない。そのためにもお年寄りが利用して楽しいものを望む。	
46	郵送	女性	50代	介護予防	新聞記事などを見ていて、筋トレばかりが目につく。確かに筋トレは大事だろうが、頭が呆けてしまっただけでは、身体が元気で反って周りに迷惑がられることだろう。最近、子どもから聞いた話では、呆け防止のゲーム機があるらしい。簡単な足し算や図形の形を記憶して正しい形を選択するといったことを毎日繰り返していると言っていると記憶力などが向上するのだそうだ。このように、介護予防は、身体と頭とをセットで考えてほしいと思う。	
47	郵送	女性	60代	介護予防	筋トレをひろめてほしい。筋トレする場所も必要であるから、区役所等の公共施設で休日の空いた時間に筋トレするための場所として開放してほしい。高齢者が増えるのだから、限られた社会資源と予算を有効に活用して、高齢者の行き場をもっと作ってほしい。	
48	郵送	女性	70代	介護予防	介護予防のことを書いているのはありがたいことだが、しんどいものなら行く気にならない。効果だけでなく楽しいものにしてほしい。できれば、歩いてゆけるとところで利用したい。	
49	郵送	男性	60代	介護予防	介護予防事業は、要支援・要介護になるおそれのある方が対象とあるが、どのようにして調べられるのか。	
50	郵送	男性	20代	介護予防	自転車で介護予防。自転車といっても、軽量でコインロッカーに入るくらいに折りたたみが出来て、疲れた時には腰掛け椅子にもなるような、そんな機能をもったものがあれば手軽に介護予防の一環として自転車を乗る機会が増えるのではないかと。自転車なら地球環境にも優しい。	
51	郵送	男性	20代	介護予防	国会でも議論されていたように介護予防の効果を検証することが重要だと思うのでその仕組みをしっかりとつくって欲しい。	
52	郵送	男性	30代	介護予防	デイサービスや施設で取り組んでいるレクリエーションや各種療養があたかも介護予防に効果がなかったように捉えられる風潮があり不満である。新しいものをつくってそちらに関心をむけようとする国の意図を感じるべきだ。	
53	Eメール	女性	50代	介護予防	園芸福祉活動など、全世代が参加できる場面あるいはテーマを提供してほしい。	
54	Eメール	女性	50代	介護予防	介護予防は、楽しく、継続的に出来て、効果のあるプランを、専門家だけでなく住民参加により考案してほしい。	
55	Eメール	女性	50代	介護予防	介護予防の施策として園芸福祉活動を具体的に推し進めて欲しい。	
56	郵送	女性	60代	介護予防	介護予防の大切さがよく分かった。市が色々考えてくれるのはありがたいことだが、市民が自主的に取組めるような手立てが一番必要なのではないか。	
57	郵送	男性	20代	地域包括支援センター	介護予防の推進のためには何よりも地域包括支援センターがうまく機能することが必要である。来年4月まで時間はないが、研修を重ね、適切に対応できるようにしてほしい。福祉事務所もしっかり支援してほしい。	
58	郵送	女性	60代	地域包括支援センター	在宅介護支援センターの人の手配でヘルパーが来てくれるようになったが、今来ていただいているセンターはどうなるのか。地域包括支援センターになっても、来てくれるのか。	
59	郵送	女性	40代	地域包括支援センター	新しく設置される地域包括支援センター職員への研修はしっかりして欲しい。特に公平・中立な立場で業務にあたるよう倫理面を大切にしたい。	
60	郵送	女性	40代	地域包括支援センター	地域住民にとって地域包括支援センターは頼りにしている。色々アドバイスしてほしい。住民の声によく耳を傾けられる相談員を養成してほしい。	
61	郵送	男性	50代	地域包括支援センター	障害者の支援費制度と統合されることを想定して地域包括支援センターのことや地域密着型サービスのことを考えておいたほうがよい。まだこのプランにはそこまで書けないと思うが、高齢者の多くは障害を持つ人が多い。	
62	F A X	女性	30代	地域包括支援センター	介護サービスに携わる者だが、残念ながら介護スタッフには、まだまだプロ意識が足りない。人にもよるのかもしれないがモラル自体が不足していると感じる。(特に看護スタッフと比較すれば顕著である。)養成時、研修時にしっかりと教育するべきであるし、管理者の意識も変えていく必要があると思う。行政の監査でも、この点を見てもらいたいと思う。地域包括支援センターができるがモラルがあつてこそ公平、中立な仕事出来る。願いをしっかりと担保するよう取組をお願いする。	
63	郵送	男性	30代	地域包括支援センター	最前線で活動しているケースワーカーへの支援をもっと充実させる必要がある。地域包括支援センターに主任ケアマネージャーが配置されるようだが、福祉事務所の役割も大切なので最終の計画策定に向けて、その辺をしっかりと書き入れて欲しい。	
64	郵送	男性	50代	健康づくり・生きがいづくり	団塊の世代をすっかり高齢者と見てるように感じたが、まだまだ先の話である。彼らに自分たちの老後について考える機会を与えるべきであり、それに応じた支援策を考えるべきである。	
65	Eメール	女性	50代	健康づくり・生きがいづくり	元気な高齢者が、社会の一員として貢献できるようにハード・ソフト面ともに社会環境づくりを進めて欲しい。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
66	郵送	男性	80代	健康づくり・生きがいづくり	私の健康心得は、毎日30分の歩行（散歩）、食間に水分の補給（湯茶・水・湯水など。ただし、清りょう飲料水は量は少くする）、心の安定（ストレスは避ける）、以上以外の健康に気配りしてねたきりにならぬように出来る限り体を動かすようにする。	
67	郵送	男性	60代	健康づくり・生きがいづくり	老けないのは生きがいを持つことである。しかし、なかなかやりたいと思うことがない。どこで、どんなグループが催されているか一覧にして配ってもらいたい。	
68	郵送	男性	20代	健康づくり・生きがいづくり	私が住むアパートにも高齢者夫婦が住んでいるが、一日中どこにも出かけず静かに暮らしている。体は元気なので、気軽に行ける集会所のようなところがあればよいのと思う。そういうところで、健康のための生活とか、いざという時の福祉サービスのことを考えてはどうか。	
69	郵送	男性	60代	健康づくり・生きがいづくり	工場で長く働いていたが、定年で退職して、今は一日部屋の中で新聞を読んだり、テレビを見たりして過ごしている。ボランティアをするというほど福祉に関心があるわけではないが、何か自分でできることはないかと思っている。	
70	郵送	女性	40代	健康づくり・生きがいづくり	タバコのリスクは大きいので、私は最近やめた。最近の若い人はタバコを吸う人が減ってるそうだ。禁煙外来の病院などもあるので、高齢者の人にもタバコのリスクを知ってもらって止めてほしい。	
71	郵送	男性	40代	健康づくり・生きがいづくり	市民は健康に関心があってもなかなか実践できない。タバコの悪害はぜひ広まったが、その他成人病等についてももっと啓発していくべきなので、重点課題では行政からのPRについて取り入れるべきである。	
72	郵送	男性	40代	健康づくり・生きがいづくり	高齢者を取り巻く情勢として医療制度のことも視野に入れておかないといけない。将来の見通しは分からないにせよ、健康増進が医療費の削減につながるということも記載しておくべきである。	
73	郵送	女性		健康づくり・生きがいづくり	老人福祉センターの事業は、高齢者が何をしたいかよくその気持ちを汲み取って内容を考えるようにすべき。生きがいを感じるにしても当事者の参加の心がけが大事である。	
74	Eメール	女性	50代	健康づくり・生きがいづくり	個々人の自立（自律）度に応じた社会参加の場の提供をして欲しい。	
75	郵送	男性	50代	健康づくり・生きがいづくり	生きがいづくりの推進に情報提供の充実というのがあるが、情報提供の方法として、会員登録した人に電子メールで提供したり、ホームページでこまめに提供する仕組みにしてほしい。定年後もパソコンを使って情報のやりとりをすることは多いだろう。	
76	郵送	女性	50代	健康づくり・生きがいづくり	20～30代の方を中心とした世代と高齢者との交流を進めることもどうかと思う。会社員には、勤務時間内にボランティアを。学生には、ボランティアをしたら単位を。いずれも、体験することに意味があると思う。	
77	郵送	女性	70代	健康づくり・生きがいづくり	敬老乗車証をいただいて助かっている。どうぞこれからも続けてくださいますようお願いする。	
78	郵送	男性		健康づくり・生きがいづくり	今年の10月から敬老乗車証が有料化されたが、定期的なものではなく、プリペイドカードにする方法もあるのではないか。このカードなら残高が残っていれば、翌年の更新時期を過ぎても使用することができる。	
79	郵送	男性	50代	介護保険制度	次の計画では赤字が発生しないようにしっかりと見込んで欲しい。	
80	郵送	男性	80代	介護保険制度	介護保険事業の実施状況について、当該保険の財政状況について、平成13年から赤字となっているとしか触れておらず、支出状況報告としては十分ではないと思う。	
81	郵送	女性	60代	介護保険制度	介護サービスが必要な人と、使わなければ損という人をよく見極めてほしい。	
82	郵送	女性		介護保険制度	介護保険制度が始まる前から老人ホームに入所している。私とともに施設も年を重ねているが、お世話してくださる方は言葉遣いも丁寧でいい方ばかりである。介護保険制度になった今も、これから新しい制度になったとしても、引き続きお世話になりたいと思っている。	
83	郵送	女性	60代	介護保険制度	ユニットケアになり、費用が上がることは今後の気がかりな事である。	
84	郵送	女性	60代	介護保険制度	日々の暮しに追われ自分が高齢になっている事すら忘れてしまうと中間報告を見ても理解出来ないのが本当の気持ちである。本当に必要なプランをお願いしたく、保険給付の適正化を強く望む。	
85	郵送	男性	30代	介護保険制度	介護保険で借入金があるようだが、介護保険以外の市全体の会計で返済すべきである。	
86	郵送	女性	40代	介護保険制度	給付費を抑制する方策について具体的に考えて欲しい。	
87	郵送	女性	60代	介護保険制度	被保険者の内、82%の人は保険料の支払いのみで利用せず、18%の人が介護保険制度を利用しているが、保険財政は赤字の様子であるから、健康保険と統合し、更に、何年か医療費等を使っていない人には払い戻しをするようにほしい。	
88	郵送	女性	30代	介護保険制度	要介護認定を受けている方で、介護サービス未利用者が17.04%もいるのはどうしてか。要介護認定を受けなくてもいいのではないかと。こういうところに無駄がないかよく検証するべきだろう。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
89	F A X	男性	50代	介護保険制度	福祉サービス量の増大は保険料負担にかかり、そこで、家事援助や通所サービスの活用をチェックをどうするかであるが、例えば、事業所とケアマネの同一は避けたり、外部評価制の拡大が必要であるなど、適正なチェックシステムの再確認と市町村としての財政見直しをお願いしたい。	
90	郵送	男性	70代	介護保険制度	介護保険の利用料は10%負担となっているが、この負担額は色々あってもよく、10%が最低で本人の所得等により最高50%程度まで考慮できないものか。	
91	郵送	女性	70代	介護保険制度	施設入所者の負担金については、収入のある人からはもっと徴収すればよい。これまで一生懸命働いても厚生年金は180万である。施設に入れず収入が少ない者は、苦しい家計でやりくりしている。	
92	郵送			介護保険制度	保険料の所得段階区分を9段階にすることには賛成である。少しでも、所得の低い方の負担に配慮してほしい。	
93	郵送	男性	40代	介護保険制度	全体として、今後の福祉施策について充実した報告書であると評価できる。今後、良質な介護サービスが期待されるのは当然だが、何よりも制度が持続可能であるように望む。そのためにも所得に応じた応分の負担がシステムとして組み込まれていることが必要と思う。サービス事業者が増えるのは結構だが、情報公開、第三者評価制度のシステムもより重要になってくると思う。	
94	郵送	男性	40代	介護保険制度	高齢者が増えているのだから、保険料の値上げはやむを得ないと思うが、介護保険を利用した場合の負担額も収入に応じて増額したり減額したりしてほしい。両親は年金生活をしているが、介護保険料が値上がりしても、その分年金が増えるわけではなく、実質的な生活費は少なくなる。どこかで負担が少なくなる仕組みがないと、年々生活が苦しくなるだけである。	
95	郵送	男性	50代	介護保険制度	地域支援事業の包括的支援事業は2号保険料の負担はないが権利擁護など重要なものなので2号からも徴収してもいいのではないか。	
96	郵送	男性		介護保険制度	先日三浦展氏の「下流社会」という本を読んだ。少ない収入で気軽に気楽に生きていこうという階層が増えてきているとの事。そんな折、新しい所得段階区分を見て驚いた。現役時代に頑張った人ほど高い保険料が取られ、そうじゃなかった人は安い保険料で済む。おそらく他の福祉の利用料なんかでも同じだろう。これでは社会は社会主義国家日本と言われても仕方がない。頑張って働いて多額の税金を払ってきた人に更に高い保険料をとるとするのは不平等な社会ではないか。	
97	郵送	男性	60代	介護保険制度	医療制度の改正や税制の改正で高齢者の負担が増える中、介護保険料まで大幅に上がるのは厳しすぎる。月5千円近くも払って何も介護保険のサービスを利用しないのももったいないだけだ。もう少し安くなるように考え直して欲しい。	
98	郵送	男性	40代	介護保険制度	新しい所得段階区分はよく考えられていると思う。所得の700万円以上はもう少しきざんでもいいのかもしれない。	
99	郵送	男性	60代	介護保険制度	どこまで保険料が上がるのか不安。保険料を年金から天引きするのはやめて、払う・払わないは自由にすべきだ。年金のように一括払いにしたら安くなるようにできないか。	
100	郵送	男性	70代	介護保険制度	今のところ私は介護の状態ではなく、介護保険料は掛け捨てのようなもの。月額5千円は限界であり、これ以上は上げないでほしい。	
101	F A X	男性	70代	介護保険制度	保険料については激変緩和をしてほしい。	
102	F A X	女性	80代	介護保険制度	少額の国民年金から保険料を天引きされているが、適正な各個人の所得による介護保険料を考えていただきたい。	
103	Eメール	男性	50代	介護保険制度	低所得者に対する、保険料減額制度を充実してほしい。	
104	郵送	女性	60代	保険料	高い保険料に見合うだけの基盤整備をしっかりとお願いする。	
105	郵送	男性	40代	保険料	こんなに保険料が上がるなら、施設はもう作らなくてもよいのではないか。	
106	郵送	男性	40代	保険料	高齢化がどんどん進んでいるが、このままだと保険料がおそろしく高くなるのはまちがいない。保険料を支払う年齢をもっと引き下げるべきで、40才以上を25才くらい(働き出す年齢)からにしてはどうか。みんな必ず老いるのだから。市だけでは無理だろうから、国へ検討を進めさせるべきである。	
107	郵送	男性	60代	保険料	また保険料が上がるのは承諾しかねる。自由加入できる制度にするべきである。	
108	郵送	男性	60代	保険料	生活保護(健康で文化的な生活の最低限レベル)受給者から保険料を取るのとは人道に欠ける。その意味では、同居親族の所得まで個人負担の要素とされていることも同様である。激変緩和措置をとってもやがては元に戻るから、第9段階をもっと高額収入層に引き上げて、全体を高所得者層を高率負担にシフトさせるべきである。	
109	郵送	男性	50代	保険料	いわゆる団塊の世代の者だが、来年度からの計画は、10年後の姿を見据えた計画だと伺った。これから、高齢者が急増するので、保険料が上がるのは、私の世代からすれば当たり前なのかもしれないが、これからの高齢者は今までの高齢者のように収入の多くを公的年金に頼ることなく、生命保険会社等からの定期的な給付が加わるなど、これまで以上に収入に格差が生じることと思う。今回、保険料の区分を5段階から9段階にしたことは、適切な考えとは思いますが、高額所得者の負担はもっと多くてもいいと思うので検討していただきたい。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
110	郵送	男性	20代	保険料	保険料の独自減免のことが書かれていないが、低所得者のこともしっかり考えて続けてほしい。一部の自治体でボランティアをすれば、保険料を安くするという制度が検討されているが、京都市ではどうするのか。ボランティア精神を尊重する立場からすれば実施するべきではないが、こういうことをしないとボランティアは増えないのだろうか。何かインセンティブを持たせる方策が必要ではないか。	
111	郵送	男性	40代	保険料	保険料は高いと思うが、介護サービスや介護予防を提供しようと思えば仕方がない。ただ、これ以上の負担は限界だと思うので介護予防に力を入れるとともに被保険者（2号）の拡大について国に要望するべきである。	
112	郵送	女性	40代	保険料	保険料の値上げはやめてほしい。私が介護保険のサービスを利用する頃には、いったいいくらに値上がりしているのかと思う。消費税が上がる話が出ているが、上げるのなら、介護保険の費用をそこから捻出してほしい。そうすれば、毎月の保険料の支払をしなくて済み、高収入の人からは上限なく税金をとることができる。	
113	郵送	女性	50代	保険料	26年度の保険料が5,200円となっているが、本当に18年度の4,900円から300円上がるだけで済むのか。	
114	郵送	男性	40代	事業者	京都は介護保険の事業者の不正が多い。まだまだ隠れた不正が多いのではないかと。市の指導強化を望む。	
115	郵送	男性	50代	事業者	私はデイサービスでケアワーカーをしている。重点課題の中で介護サービスの質の向上、介護技術の向上とあるが、これはどのようにされるのか。現時点では自費で勉強し講習会へ行く資格を取っている。低賃金、重労働、定職率の悪いこの業界でいい人材を育て確保しないとこれらの計画は進まないのではないかと。私自身高齢者となる時が不安に思われる。	
116	郵送	女性	70代	事業者	本人（受け側）の状態に合った介護が受けられるようにしていただきたい。色々なサービス内容を提供する事業者が多くあってほしい。デイサービスは6時間以上というのではなく、入浴と食事だけといったようにすることで、介護度の軽い人達がお互いに助け合って入浴と食事が楽しんで受けられるような、そんな場所を作っていただきたい。もう少しお世話していただく人達には、受け側の人間性を大切にしていきたいと思う。	
117	郵送	男性	30代	事業者	介護サービス事業者の不正は氷山の一角ではないかと。行政のチェック体制を強化してチェックを厳しくしてほしい。重点課題5にそれが書いてあるが具体的な内容（新しく何をするか）を盛り込んで欲しい。	
118	郵送	女性	30代	事業者	介護サービスの質の向上も大事だが、福祉事務所や保健所職員の能力も向上させて、適格に民間事業者の指導にあたるべきである。特に保健所は地域包括支援センターが、保健所の役割を担っていることをしっかりと認識し、地域保健の向上の立場からサポートすることを望む。	
119	F A X	女性	30代	事業者	重点課題5において、サービス事業者の情報開示の充実については、利用する側にとって有益な内容になるよう項目を設定してほしい。	
120	F A X	男性	70代	地域ケア	地域差の問題について、京都市と言っても本当の山奥の久多地区のような所と、中心部の四条河原町とは住んでいる人の考え方も生活環境も全く異なり、同じような取組、施策では対応できない。実際に高齢の認知症の親を抱え、多くの施設を経験してきた私にとって、是非地域差を考えて欲しいと思う。	
121	郵送	女性	40代	地域ケア	ひとり暮らしの高齢者が44%も増えると書いてあり驚いた。若い人でも、ひとり暮らしだと風邪を引いただけでも不安なので高齢者では尚更だろう。介護保険とは別にちょっとした手助けがあると安心できると思う。	
122	郵送	男性	40代	地域ケア	ひとり暮らしの高齢者が増えていく中、そうした高齢者が地域の中で孤立しないように地域全体で支援する必要がある。町内会では、町の下に組があるが、その組単位で相互に支援し合える呼びかけをしていってはどうか。	
123	郵送	男性	50代	地域ケア	京都市はもっと住民の福祉活動を支援すべきではないか。せっかく、ひと・まち交流館をつくったのに利用している市民は同じ人ばかりではないか。いい施設だと思うのでしっかりと広報して利用者が増えるようにしてほしい。	
124	郵送	男性	20代	地域ケア	ボランティア活動をしているが、一緒に活動しているお年寄りみなさんいきいきしている。重点課題4に「地域住民による自主的な活動の推進」とあるが、高齢社会の中で、できるだけ多くのお年寄りに地域福祉活動に参加してもらう事が大切だと思う。そのためにはどこでどのような活動をしている団体があるのか入手が簡単な情報を提供することが必要である。	
125	郵送	女性	40代	地域ケア	介護保険サービスを利用している家族にとってみれば保険料の値上がりに文句は言えない。他の方々には申し訳なく思う。親の介護が将来なくなれば少しでも返戻したいと思うので、気軽に参加できるボランティアをなるべく応援して下さいをお願いします。	
126	F A X	女性	90代	地域ケア	健康すこやか学級が実践されているが、一部の人だけの参加で、区民全体への呼びかけが希薄に思う。保険料段階の区分や介護相談員事業もまだまだ一般には知られていない。地域ケア体制を推進するに当たっては、民生委員とか老人福祉員以外にももっと身近な町内や組等の組織体制の充実の方が良いのではないかと。	
127	Eメール	女性	50代	地域ケア	世代を超えた自発的な市民活動を積極的に支援してほしい。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
128	F A X	女性	30代	その他	重点課題6において、居住福祉の推進については、高齢者だけの問題ではなく障害のある人や母子家庭、外国人などにも共通した問題だと思うので、縦割り行政ではなく垣根を越えた取組をお願いします。	
129	郵送			その他	市バス、地下鉄の乗車に当たっては、高齢者の人も、目の不自由な方、妊婦、けがをしている方などに配慮してほしい。	
130	郵送	男性	30代	その他	政策目標にあるような高齢者が尊厳を保つためには、他の世代から尊重される必要がある。現実には高齢者が軽んじられることが多い。核家族化の中で高齢者と接する機会が少ないためではないか。京都市の様々なイベントの中で啓発活動に取り組むべきである。	
131	郵送			その他	一人ぐらしの高齢者が増加する中、高齢者に対応した住まいの供給がもっと必要である。何も新しく建てなくても古家を改修すればいい。アパートに入りやすく支援することも必要なのではないか。	
132	郵送			その他	市民説明会に参加した。大変わかりやすい説明だったが、こうした市民への説明を継続してほしい。	
133	郵送	男性	20代	その他	大学に入学して京都に来たが、お年寄りが多いまちだと思う。元気な方がほとんどだと思うが、たまに、歩いているのも危ないくらいのお年寄りも見かける。少しの段があるだけでも転びそうで見ているだけで怖いものがある。シルバーゾーンというのがあるが、すべての歩道を安全に歩けるなら、そうしたゾーンも必要ないだろう。大学生は暇なので、京都市の危険箇所をチェックさせるなどして整備してほしい。募集するならばぜひ応募してみたいと思う。	
134	郵送	男性	50代	その他	虐待防止の法律ができたが、きちんと防止できるかどうかは市のやる気次第である。どう発見し、どう介入するのか明確にし、信頼できる行政であってほしい。	
135	郵送	男性	40代	その他	超高齢社会が到来すると、高齢者が事故に遭ったり事故したりすることが増えて、事故する確率も高まるだろう。四条通にある歩行者と車の交通を分離した信号機のように、分かりやすい仕組みで安全な対策を考えてほしい。	
136	郵送	男性	50代	その他	高齢者が増える世の中は、高齢者のテンポに合わせた優しい社会であると同時に、高齢であることで命に関わるリスクも多い社会。心室細動による心臓疾患などは、一刻を争うものであり、日本でもAEDの設置が広まってきているが、それを使うための講習なども観光客の多い京都の市民の義務として取り組んではどうだろうか。	
137	郵送	女性	50代	その他	滋賀県に住んでいるが、不便なところなので定年したら京都に引っ越し予定。高齢者は部屋を借りるのが難しいと聞いたことがある。高齢者でも賃貸住宅を借りやすくしてほしい。	
138	郵送	男性	60代	その他	オレオレ詐欺とか悪質な訪問販売とかしっかりと対策を考えて欲しい。重点課題にしっかり書いて欲しい。あと、高齢者が安心できる生活環境づくりとして歩きやすい道路とか、交通移動手段とか、買い物の便利性等かも考えられるのではないかな。すべて書くのは無理としてもなるべく盛りこんでほしい。	
139	郵送	男性	20代	その他	全ての世代が理解し合うことは難しいことであり、いつの時代でもそうだと思うが、若者も老人も互いに理解しようと努力することが必要である。	
140	郵送	男性	60代	その他	ご苦労様。色々制度が変わるようだが、早く住民に分かりやすく説明してもらいたい。よろしく願います。	
141	郵送	女性	30代	その他	高齢者が多くなると交通事故も多くなる。交通ルールを守らないのも高齢者である。無理なことをしないように、注意点なんかを周知していく必要があるだろう。シルバーにも免許の更新時に高齢者の特徴とか注意点を教えるようにしてほしいと思う。	
142	郵送	女性	60代	その他	高齢者でも働き続けられる環境をつくってもらうことが何よりも先決である。	
143	郵送	男性	60代	その他	少子化に歯止めをかけることが必要。子育て支援も分かるがまず若者を結婚させるように仕向けるべきだ。就職をきちんとさせ、生活を安定させれば結婚する気にもなるだろう。また若者のモラルの向上も必要。学校教育や家庭でのしつけをしっかりとるよう社会改革が望まれる。それでこそ高齢社会が支えられるのではないかな。	
144	郵送	男性	60代	その他	高齢期の生活をどう支えるのか（収入面）という視点をどこかに盛り込むべきではないか。「健康」や「生きがいづくり」だけでは生活できない。	
145	郵送	女性	90代	その他	私は入院手術後、リハビリの段階で1年の間に5回病院を転々としたが、3ヶ月以上同じ病院に居られないというのは何故か。	
146	郵送	男性	70代	その他	市による説明会の場に何故医師がいたのかわからなかった。	
147	郵送	男性	60代	その他	説明会はとても丁寧な説明で、パネラーの方のお話もわかりやすかったが、思ったよりも参加者が少なかったように思う。例えば、話の上手な方を招いた講演会や老いをテーマにした映画など、ちょっと行ってみようかと思うようなものがあればいいのではないかな。	
148	Eメール	女性	50代	その他	老夫婦世帯・独居老人世帯について、家の構造の研究、税金の優遇、介護支援の強化、企業との連携などにより、高齢者夫婦のみの世帯や高齢者単身世帯を減少させることも実践して欲しい。	
149	Eメール	女性	50代	その他	新しい形の家族のあり方を考え実践することもして欲しい。	

パブリックコメントで寄せられた意見・提言

	提出方法	性別	年齢	意見分類	意見内容	備考
150	Eメール	男性	50代	その他	点字版の広報誌の充実を願う。	